

もう 恐れることはない

キャンプ支援で 鎖を断ち切りましょう！



サマーキャンプの重要性を、私はこれから繰り返し伝えて行きます。誰からも必要とされず、誰からも祈ってもらえない子どもだった私は、祭壇に進み、ひざまずいてこう言いました。

「イエス様、あなたが僕と共におられるのなら、僕は残りの人生をあなたのために生きて行きます。」

その瞬間が、すべての始まりでした。

Bill



昨年、ケニアの子どもたちはキャンプを前にしてワクワクを抑えきれず、朝の5時に「もう校門のところで待ってるよ！」「早く迎えに来て！」と日曜学校のキャプテンに電話をしてきました。そして始まったキャンプでは、皆、歌やダンスで大興奮、お腹いっぱい食事を楽しみ、みことばを聴く喜びの時を過ごしました。日頃、子どもたちが様々な恐れを抱き、特に飢えへの恐怖と闘いながら生きているのを知っているスタッフにとって、子どもたちが神のことばに飢え渴いている様子を見られたのは、素晴らしい経験でした。

レイアンはずっと、ある悩みを抱えていました。彼女が幼い頃、一家は戦争で荒廃したスーダンの家から避難する必要に迫られました。彼女の人生最初の記憶は、ケニア北部のカクマ難民キャンプで過ごしたことです。感謝なことに一家はその後、メトロが活動しているナクルに移り、そこでレイアンは学校に行くことができるようになりました。それ以来メトロの里親制度で支援を受け、昨

年はキャンプに参加することができました。

キャンプで、学びの時間の課題が「恐怖を克服する」だったことに驚いたレイアンは、ずっと恐れを抱きながら生きてきたことをメロスタッフに打ち明けました。すべてが悪い方向に行くのではないか、再び難民キャンプに戻らなければならない日がくるのではないか、という恐れです。それを聞いたスタッフたちが祈ると、レイアンは、神がどれほど自分を愛してくださっているかを感じ、「神が自分のためのご計画を持っておられるのだから、恐れはすべて神に預ければいい」ということがわかったのです！そして家に帰る頃には、もはや恐れが彼女を支配することは決してないという確信がありました。

スポンサーの惜しみない支援のおかげで、キャンプで人生が永遠に変えられる子どもがまた一人生まれました。

サマーキャンプ！

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

フィリピン学用品支援！

お申し込みの締め切りは 4 月 25 日です。

←フォームからお申し込みが可能です！



今月号の目次

P2…子どもたちからのお礼状／
キャンプ支援のご案内

P3…ビル師からのメッセージ／
祈りの輪

P4…新たな祈りの課題

P5…今月のデボーション／SNS 紹介

P6…日本事務所からのお知らせ

子どもたちからのキャンプお礼状

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう!

こんにちは! 私の名前は マヤ です。 10 才です。キャンプは楽しいです。

これまでで一番楽しかったのは、ウォータースライダー です。

今、願っているのは 礼拝で教わったことを家族に伝えたい ということです。

今日は、神様が私と共におられること を学びました。

あなたに伝えたいです。 キャンプをとても楽しんでいます!

Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう!

こんにちは! 私の名前は ナタン です。 12 才です。キャンプは楽しいです。

これまでで一番楽しかったのは、湖とウォータースライダー です。

今、願っているのは 来年も また来たい ということです。

今日は、あなたのためにどう祈ればよいか を学びました。

あなたに伝えたいです。 僕のために祈ってくれて、キャンプに来させてくれて、ありがとう!

Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう!

こんにちは! 私の名前は ジェームス です。 12 才です。キャンプは楽しいです。

これまでで一番楽しかったのは、礼拝と食事と湖 です。

今、願っているのは 来年も また来たい ということです。

今日は、僕が進むべき道を見つけられるようイエス様は助けてくださり、見守ってくださっているということ を学びました。

あなたに伝えたいです。 キャンプに来られて嬉しいです。

Thank You!

サマーキャンプに参加させてくれてありがとう!

こんにちは! 私の名前は キリー です。 9 才です。キャンプは楽しいです。

これまでで一番楽しかったのは、礼拝 です。

今、願っているのは また来たい ということです。

今日は、私はゴミではなく、神様にとっては宝物だということ を学びました。

あなたに伝えたいです。 とても楽しかったです。

Thank You!



キャンプ支援 & 支援献金受付中!

←こちらからお申し込みができます

キャンプ支援のご案内

サマーキャンプはメトロの子どもたちにとって、一年で最も大きな影響を与える行事です。あなたのご理解とご支援で開催することができます。

- ニューヨークは 33,000 円で、4 泊 5 日のキャンプに参加ができます。
- フィリピンとケニアは 10,200 円で日帰りキャンプに参加できます。

費用には交通費、宿泊費、食費、工作用品、その他の費用が含まれます。

それ以外のどんなご支援も感謝です!

一人分のキャンプ費用のご支援が難しい場合でも、できる範囲の金額をお送りください。数名分のご支援を合わせれば参加者を増やすことができますので、あなたも生涯続く大きな影響を子どもの人生に与えることができます。



「ブレイクスルー（画期的な進歩）について語りたいですか」

本物のブレイクスルーについてお話ししましょう



「信仰」という言葉は、今の世代のためにあらためて定義し直す必要があります。信仰がなければ、私の人生は取るに足りないものになるでしょう。しかし今私が語ろうとしている「信仰」は、自己の利益を追求するような人たちがテレビで説教する際に口にする「信仰」とは別のものです。

私の頭にあるのは、イエスが見た4人の男性の信仰です。彼らは中風の友人を心配し、本人に代わって目に見える形での信仰を積極的に働かせました。

マルコの福音書第2章では、イエスがみことばを話していた家に4人の男性が来たものの、あまりに多くの人が集まっていた戸口にさえ近づけなかった場面が書かれています。このような状況では諦めて帰る人が多いはずですが、しかしこの4人は違いました。彼らは協力して、その家の屋根に上って中風の友人も引き上げました。そして屋根に穴をあけ、イエスの目の前に友人を吊り降ろしたのです！これこそ、能動的で積極的な信仰です！

聖書にはこうあります。「イエスは彼らの信仰を見て…」つまり、真の信仰をその目で見られたということです。説明するまでもありません。

想像できますか。ここに、真に魂を獲得する者であり真の友でもある信仰者の心構えと取るべき方法があります。誰かを教会に連れて行くだけでは足りないのです。イエスの目の前に連れて行かなければなりません。メトロのサマーキャンプ

を含め、私たちのすべての活動の中心は、子どもたちをイエスのもとに連れて行くことにあります。

子どもをメトロのキャンプに行かせることは「屋根に穴を開けること」です。あなたはその子が現在住んでいる有害な環境から脱出する機会を与えることになります。夏休みの数か月間は特に、子どもたちにさまざまな誘惑が次から次へとやってきます。あなたは、その集中砲火から逃れる避難所を与えることになるのです。そしてその避難所の先にはイエスがおられます。

1960年、私は初めて日曜学校のキャンプに参加してキリストを受け入れました。それこそが、私にとって決定的な瞬間でした。私の人生が動き始めた「カイロス^{*1}」の瞬間です。私は「主よ、行動によって自身の信仰を証明できる若い世代を起こしてください」と祈っています。私たちに必要なのは、目に見える信仰、徹底的な信仰、活力に満ちた信仰です。これらは、神に信頼しみことばを信じる信仰者の、非常識ともいえる行動に見ることができるものです。

私にとって、メトロにとって、そして何より子どもたちにとって「ブレイクスルーの友」でいてくださるあなたに感謝します。有り得ないと思われた道を、あなたは子どもたちのために作ってくださっているのです。

ビル・ウィルソン

^{*1}「カイロス」：新約聖書のアヘン語のギリシア語で、内面的な、ある出来事が起きる決定的な「時」の意

キャンプ お泊まりセット (ニューヨーク)

やっと初めてのキャンプ参加がかなうというのに、そのための最低限の準備もできない子の気持ちを想像してみてください。ニューヨークでは、ほとんどの子がそういう状態なのです。そんな子どもたちのために、必要な準備を整えてあげることができます。

3,000円で、歯磨きやシャンプーなどの日用品が入ったセットを贈ることができますので、これがあれば安心ですし、キャンプがさらに素晴らしい体験となるでしょう。

祈りの輪

メトロのパートナーであるあなたは、祈りと支援を通じて活動の任務を担ってくれる貴重な存在です。

どうか共に祈ってください…

- 今年、できるだけ多くの子どもたちがキャンプに行かれますように
- 世界各地の子どもたちに福音を伝えるメトロスタッフとボランティアのうちに聖霊が働かれますように
- 参加する子どもたちがイエス・キリストを知り、それぞれの人生にイエス様を招き入れますように
- 参加する子どもたちがキリストの平和を家に持ち帰ることができますように



緊急

新たな祈りの課題 —コロナウィルス—

このメトロレポートの印刷中、新型コロナウイルスの大流行および拡散防止策によって私たちの生活は一変しました。私たちはあなたの身を案じ、あなたとあなたのご家族のためにお祈りしていることをここにお伝えします。

もう一つお伝えしておきたいのは、メトロの活動は続いているということです。私たちは地域社会に最大限貢献するために、政府からの指示に従えるよう日々刻々と調整を続けています。そう、あの「9. 11」直後のニューヨークのように。それは各国のメトロの拠点も同様です。私たちの最優先事項は、支援している子どもとその家族、スタッフやボランティアの健康と安全です。その一方で、日曜学校プログラムの作成や準備、道ばた日曜学校のトラックの準備、カリキュラムの作成、インターンの訓練、その他の働きも続けています。

この混乱の中で神の王国を大きく前進させるにはどうするべきか…私たちは前向きに神の導きを求めているところです。働きの形態が変わることがあっても、私たちが伝えるべきことは決して変わりません！閉ざされた場所にいた弟子たちの所に来たイエスの言葉を思い出しましょう。「平安があなたがたにあるように」(ヨハネの福音書第20章19節)。苦しんでいる人たちに、そのイエスの平安をもたらすことが私たちの使命です。どうか働き人たちのためにお祈りください。

ビル・ウィルソン



お知らせ

メトロのサマーキャンプは今のところ、予定通り準備中です。スタッフはカリキュラムを作成し、細かな実施計画やゲーム、キャンプ用具などを用意しています。何か変更があれば随時お知らせします。

ニューヨークでは、支援している子どもとその家族専用のコールセンターを設置し、このような事態の中でも、メトロスタッフは子どもたちとの連絡を中断することなく、祈りとサポートを続けています。スポンサーや各種協力者のためにも、同様の対応を行う予定です。

地方自治体や災害支援団体に協力を申し出、必要に応じて緊急時の支援(診療場所、物資輸送、食事のスペースや患者収容スペースなど)の対応ができるようにしました。



このような状況下でも、いつものように思いやり溢れるご支援をいただけると大変ありがたいです。子どもたちに神の愛を伝え続け、物質面で必要を満たすのに非常に役立ちます。しばらく続くと思われるこの特別な事態における必要のためにご協力ください。感謝です！

最新情報は

<https://www.metrochild.org/covid19/>をご覧ください。
(英語)



2020年4月 今月のデポジション by ビル・ウィルソン

「今日、もう少し長くとどまってみる」

時が近づいていることが、イエスにはわかっていました。まもなく裏切られ逮捕され、それから拷問が始まる、と。ゲツセマネの園に進み入って祈った後に弟子たちを残してきた場所に戻ると、彼らは眠っていました。イエスは弟子たちに、目を覚ましてともに祈ってほしいと告げ、先ほどの場所に戻りました。皆を置いて先に進み、より熱心に祈った場所です。イエスはその場所にしばらくとどまりました。

イエスの生涯から学んだ中で最も素晴らしいことのひとつは、「一度決めたことはやめない」ということです。イエスはどんな小さなことも最後までやり遂げるお方でした。人としての人生で最も困難な局面でも逃げ出さず、そうした状況を回避せず、問題を遠ざけようとしませんでした。そう、一度たりとも。イエスがとられた行動は、少し先に進み、もう少し熱心に祈り、それから弟子たちの限界よりも少しだけ長くそこにとどまったというものです。

イエスのように行動したら、私たちはどれほどの過ちを犯さずに済むでしょうか。やればできたはずなのに、くじけてやめてしまったことはありませんか。どん底を味わっている時、荷物をまとめてどこかへ行くのは何の解決にもなりません。そんな時こそ、もう少し先に進み、もう少し熱く祈り、他の人たちよりも少しだけ長くそこにとどまるべきなのです。

誰よりも積極的にそうした態度で臨まなければなりません。必要なのは才能でもなければ手腕でもなく、カリスマ性でもない…そんなものではありません。大事なものはあなたの居場所、祈り、そして粘り強さです。天の父（私たちにとても父なるお方です）に助けを懇願した時のイエスの行動に倣いましょう。その姿勢によって、厳しい局面を切り抜けることができるのです。

今、神があなたを必要とされる場所があるなら…あなたが関わるべき問題があるなら…少し先に進み行き、もう少し熱心に祈り、他の人たちよりも少しだけ長くそこにとどまってみてください。そこであなたは神に出会えるはずです。

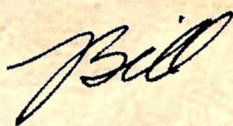
「イエスが戻って来て、ご覧になると、彼らはまたも眠っていた。目をあけていることができなかったのである。」

イエスは、またも彼らを置いて行かれ、もう一度同じことをくり返して三度目の祈りをされた。」

—マタイの福音書第26章43～44節—

心をこめて

創作者・主任牧師 ビル・ウィルソン



4月20日
WEB 限定記事更新!

メトロ・ワールド・チャイルドをフォローしよう!



フェイスブック

レポートの記事や、メトロの活動の様子が分かる動画がアップされています





ユーチューブ

メトロの活動の様子が分かる動画がアップされています





ライン

レポートの記事や、メトロの活動の様子が分かる動画がアップされています





インスタグラム

レポートの記事や、メトロの活動の様子が分かる動画がアップされています





メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所ホームページ

レポートの記事や、WEB 限定のデポジション記事などを更新中!

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

スポンサー代金改定

メトロ本部では、世界中の物価の上昇に対応するために、子どものスポンサー代金を昨年からひと月 5,000 円に変更しています。

たくさんの皆様が、スポンサー代金の引き上げのご連絡をくださいましたことを心から感謝申し上げます。

もし、まだご検討いただいていない場合は、ぜひご検討の上、大変お手数ですが、日本事務所までご意向をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

ご了承のないまま自動的に引き上げることはありませんので、よろしくお願いいたします。

メールが届かない？

「日本事務所からの返信メールが届かない」というご連絡を度々いただきます。

いただいたメールには必ずご返信しておりますので、もし日本事務所からメールが届かない場合は、お手数ですが、メトロからの返信メールが、迷惑メールフォルダに自動で振り分けられていないかをご確認ください。

迷惑メールの受信設定をなさっている場合は、以下のアドレスを受信できるように設定してくださいませよう、お願いいたします。

日本事務所メールアドレス

metrojapan@mission.or.jp

メトロのツアーについて

今年のメトロ・フィリピン視察ツアーは、総勢 20 名での開催予定でしたが、新型コロナウイルス対策でフィリピンの首都マニラが封鎖されたため、ツアーの中止を余儀なくされました。

誠に残念な結果ですが、フィリピンはじめ各国で展開されるメトロの活動が守られるように、現地の子どもたちやスタッフ、インターン生の健康が守られるように祈ってまいりましょう。

現在予定しているツアー日程は以下の通りですが、今後の動向を見ながら開催するかどうかの判断をしてご案内申し上げます。

ケニア 9月9日(水)～16日(水)

アメリカ 11月19日(木)～24日(火)

日本事務所よりごあいさつ！

春本番、新年度もスタートして、学校や職場にも変化のある季節ですが、皆様お元気でしょうか。

日々変化する新型コロナウイルス対策で、世界中であらゆることが縮小し、その影響で仕事を失う人々が続出して、世界の貧困地域を直撃しています。一刻も早く有効な対策が見つかりますよう共に祈りましょう。

メトロ本部では、各国政府の緊急の協力要請にも対応できるよう準備を進めています。地域に密着した働きをしているからこそできることもたくさんあります。

そして何よりも、主イエスを信じる者に働く神の力により一切の悪しきものから守られ、この世のものとは違う主の平安をいただいていることは感謝です。

皆様の上にも主の豊かな祝福と守りをお祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL https://metroworldchild.jp/



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン